

Time	Session	Speaker・Panelist
13:00～13:25	オープニング	
13:25～13:40	<p>【Award Session】 Interaction Award 各賞 大賞発表</p> <p>マネジメント支援クラウドシステム「カケアイ」を利用する企業の実際の利用データをもとに、高い「1on1満足度」「部下自身の成長の実感」を実現している管理職個人6名と企業2社を『第1回 Interaction Award 大賞』として発表いたします。</p>	
13:40～14:10	<p>【Award Session】 Interaction Award 企業部門 大賞各社 ～1on1ベストカンパニー大賞・成長支援ベストカンパニー大賞～</p> <p>●1on1の総合的な満足度が高かった企業では、どのようにメンバーに向き合い対話をしているのか？ ●メンバーの成長実感が高かった企業では、メンバーにどのように関わり、成長を支援しているのか？ ●マネジャー個人だけでなく、組織としてメンバーへの対応力を高めていくためにどのような工夫をしているのか？</p> <p>1on1の総合的な満足度が高かった「1on1ベストカンパニー大賞」、月に1度メンバーの皆さまへカケアイ上でヒアリングする「前月を振り返っての成長の実感」の実績が高かった「成長支援ベストカンパニー 大賞」の受賞企業が日常的に意識・工夫されていること等をセッションします。</p>	<p>ジェイシーテクノロジー株式会社 事業推進室長 天野 貴明 氏</p> <p>株式会社セツロテック 代表取締役社長 竹澤 慎一郎 氏</p>
14:20～15:00	<p>【Insight Session】 個の力を引き出し チームで成果を出すための現場リーダーのチャレンジ</p> <p>●実務を牽引するリーダーが働き方の変化に対応して、工夫・チャレンジしていることは？ ●成果を出すために現場が「役に立つ」と感じる仕組みやサポートとは？</p> <p>IT系エンジニア、メーカーのブランドマネジャー等、異なる業種・職種で活躍する現場のマネジャー・リーダーがパネリストとして登壇します。現場で今、実際に困っていることや、「人と人」「人と組織」の関わり方で何を重視しどのようなことを意識して取り組んでいるのか等をセッションします。</p>	<p>株式会社ロッテ マーケティング部 キシリトールブランド課 課長 小川貴昭氏</p> <p>ヤフー株式会社 CTO CTO室 エンジニアリング部 コーポレート技術 盛山将広氏</p> <p><モデレーター> KAKEAI INTERACTION LAB. 所長 ～前アクセンチュア執行役員人事本部長 兼 グローバルHRマネジメントコミッティメンバー～ 武井 章敏</p>
15:10～15:50	<p>【Award Session】 Interaction Award 個人部門大賞受賞のマネジャー ～成長支援ベストマネジャー 大賞・1on1ベストマネジャー シチュエーション大賞～</p> <p>●メンバーが業務を通じて成長を実感するには、マネジャーのどのような関わり方や支援が効果的なのか？ ●メンバーがマネジャーに「報告したい」状況で、高い満足度を得ているマネジャーはどのように話を受け止め、アクションを促しているのか？</p> <p>月に1度メンバーの皆さまへカケアイ上でヒアリングする「前月を振り返っての成長の実感」の実績が高かったマネジャー、1on1においてメンバーの皆さまがマネジャーに期待していた「報告したい」という対応において満足度が高かったマネジャーがメンバーとの向き合い方の工夫や1on1で心掛けていること等をセッションします。</p>	<p>オムロングループ オムロン エキスパートリンク株式会社 人財ソリューションセンタ 人財育成部 リーダー 東沢 主剛 氏・辰己 直弥 氏</p>
16:00～16:50	<p>【Insight Session】 事業責任者が語る、事業環境と働き方変化における 事業運営・マネジメントの最前線</p> <p>●事業環境の変化に対応しながら、組織として高い成果を出し続けるために事業責任者は何をどうマネジメントしているのか？ ●勝つため・新たな価値を生み出すために、現場管理職にどのような部下への関わり方を求め促しているのか？</p> <p>事業環境と働き方の変化に伴い、「人と人」「人と組織」の関わり方は変わり続けています。更なる成長に向けて、事業をリードする責任者がどのような視点や基準で舵取りをしているのか等をセッションします。</p>	<p>株式会社 朝日新聞社 デジタル・イノベーション本部長 佐藤 敦 氏</p> <p>NTT東日本 ビジネスイノベーション本部 第二バリュークリエイイト部 第一バリュークリエイイト担当 部長 蛭間 武久 氏</p> <p>株式会社電通デジタル プラットフォーム部門長 高田 了 氏</p> <p><モデレーター> KAKEAI INTERACTION LAB. 所長 ～前アクセンチュア執行役員人事本部長 兼 グローバルHRマネジメントコミッティメンバー～ 武井 章敏</p>
17:00～17:50	<p>【Insight Session】 新しい働き方・これからのマネジメント ～人事部門のビジョンとアクション～</p> <p>●プライオリティやジャッジ基準の変化とその狙いとは？ ●人事として、いかに事業を支援し貢献するか？そこにあるビジョンやアクションとは？</p> <p>「変化への対応」のネクストステージに移行した今、環境の今と先をどう認識し、人事部門としてのどのようなビジョンにもとづきプライオリティや基準を変化させ人や組織を動かそうとしているのか等をセッションします。</p>	<p>ソフトバンク株式会社 人事総務統括 人事本部 副本部長 兼 採用・人材開発統括部 統括部長 兼 グループ人事統括室 室長 兼 未来人材推進室 室長 源田 泰之 氏</p> <p>Siemens Healthineers Japan ヒューマンリソース本部 本部長 中澤 佳子 氏</p> <p><モデレーター> KAKEAI INTERACTION LAB. 所長 ～前アクセンチュア執行役員人事本部長 兼 グローバルHRマネジメントコミッティメンバー～ 武井 章敏</p>
18:00～18:50	<p>【Award Session】 Interaction Award 個人部門大賞受賞のマネジャー ～1on1ベストマネジャー 個人総合 大賞・1on1ベストマネジャー シチュエーション大賞～</p> <p>●「意見を聞きたい」という要望においてメンバーに高い納得感を提供できているマネジャーは、何を意識してメンバーに伝えているのか？ ●「話を聞いて欲しい」という要望にしっかり対応できているマネジャーは、どのようなイメージを持ってメンバーに向き合っているのか？ ●メンバーからの「一緒に考えて欲しい」という要望への対応が非常に得意なマネジャーは何を工夫し取り組んでいるのか？</p> <p>1on1の総合的な満足度が高かったマネジャー、1on1においてメンバーの皆さまがマネジャーに期待していた「一緒に考えて欲しい」「話を聞いてほしい」「意見を聞きたい」という対応において満足度が高かったマネジャー1が1on1に取り組むスタンスや対話において工夫していること等をセッションします。</p>	<p>パーソルホールディングス株式会社 グループ人事本部 人事企画部 部長 山崎 涼子 氏</p> <p>リコージャパン株式会社 人財本部 人財開発BP教育グループ 兼 HR・EDTech サポートグループ リーダー 高須 彰一 氏</p> <p>NECマネジメントパートナー株式会社 人材開発サービス事業部 マネージャー 中多 信弥 氏</p>
18:50～19:10	<p>【Insight Session】 クロージングトーク</p> <p>経済学の世界的権威小島武仁氏と株式会社KAKEAI代表本田にて、小島氏の専門領域である「マーケットデザイン/マッチング理論/ゲーム理論」の観点から「人と人」「人と組織」の関わり方についてクロージングトークをお届けします。小島氏は米スタンフォードからのオンライン出演です。</p>	<p>東京大学経済学部 教授 小島 武仁 経済学者。1979年生まれ。2003年東京大学卒業（経済学部総代）、2008年ハーバード大学経済学部博士。イェール大学（博士研究員）、スタンフォード大学（助教授、准教授、教授）などを経て2020年より東京大学経済学部教授、東京大学マーケットデザインセンター所長。</p> <p>専門分野は人と人や人とモノ・サービスを適材適所に引き合わせる方法を考える「マッチング理論」と、それを応用して社会制度の設計や実装につなげる「マーケットデザイン」。日本の研修医マッチング制度や待機児童問題を改善する具体的な方法の発明などで知られる。多くのトップ国際学術誌に論文を多く発表し、受賞多数。最も生産性の高い日本人経済学者とされている。</p>